

SKHホリコミアンカー

SKH

電気亜鉛めっき（有色）処理品は、順次三価クロメート処理品へ移行してまいります。



耐震補強壁打ち増し用

SKH TYPE

コンクリート用

スチール製

電気亜鉛めっき（有色）

本体打込み式/SKホリコミアンカー



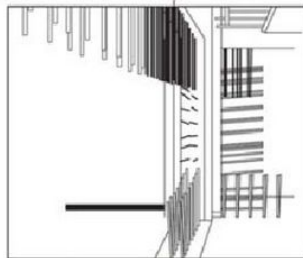
SKホリコミアンカー用ハンドホルダー（別売品）



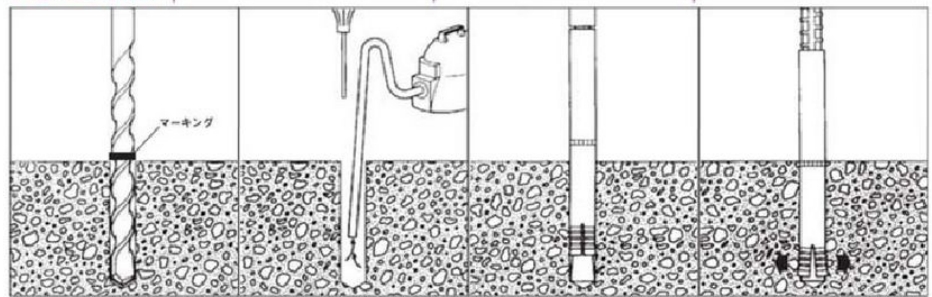
GA-H

■用途

- 鉄筋コンクリート、鉄骨・鉄筋コンクリート造構造物等の増設壁の補強



■施工方法



① 所定の径・深さに穿孔。

② 吸塵機またはダストポンプを用いて孔内の切粉を除去する。

③ アンカーを軽く叩いて挿入し、専用ハンドホルダーを使用して手ごたえが変わるまでハンマーで打込む。

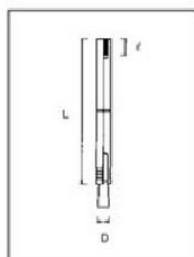
④ アンカーに異形棒鋼をねじ込みセットする。

安全第一



施工は、必ず保護メガネ・安全帽・安全装備を着用してください。

■サイズ表



品番	ねじの呼び	外径 D	全長 L	ねじ部長さ l	穿孔 深さ	ドリル 径	mm		埋込み深さ (ローレットまでの長さ)
							コンクリート圧縮強度 F_c 18N/mm ² (180kgf/cm ²)	引張最大荷重 剪断最大荷重	
SKH-10×15	M10	13.0	150	14	80	13.5	24.5 (2,500)	37.2 (3,800)	65.0
12×18	M12	16.0	180	20	98	16.5	41.1 (4,200)	55.8 (5,700)	80.0
48×21	W $\frac{1}{2}$	19.0	210	20	113	19.5	48.0 (4,900)	73.5 (7,500)	95.0
16×25	M16	22.0	250	24	133	23.0	53.9 (5,500)	106.8 (10,900)	110.0

●上記荷重値は、当社製オールドリル等を使用して穿孔した場合の実験値です。

■特長

- 現場作業の合理化を促進。
- 幅広い施工範囲で施工可能。
- ハンドホルダーを使用することにより、確実に施工できる。

■施工上の注意点

- 穿孔深さは正確に。
- 本体にコーンが付いているか確認して、下穴にセットしてください。
- 安全で確実な施工を行うために、当社指定のハンドホルダーを必ず使用してください。
- SKホリコミアンカー施工の際は、グリップアンカー用のハンドホルダーを各サイズ（ねじの呼び）に合わせて使用してください。
- 施工は、手ごたえが変わるまで確実に行ってください。
- アンカー施工基準（各種合成構造設計指針・同解説（社）日本建築学会より）を厳守してください。

アンカー施工基準

- 埋込み深さは、原則として径の5倍以上で、かぶり厚さ以上とする。
- アンカーピッチは、径の7.5倍以上で300mm以下とする。
- かぶり部分は、埋込まないこと。へりあきは径の2.5倍以上とする。